



まもなく3年生は卒業を迎えます。どんな学年だったのか振り返ってみたいと思います。

今年の卒業生

3年前、高い志願倍率の入学選抜を通して、定員より多い192名で入学してきました。今年の3月1日には191名が卒業しますが、この人数は少なくともこの10年で最大です。目的意識を高く持って入学し、様々な困難にも挫折することが少なかったことがうかがえます。

1学年の終わりに、誰も予期しなかった新型コロナウイルスの感染拡大が始まりました。3月の初めには突然の休校を余儀なくされ、十分な授業ができぬまま、終業式を迎えました。全校集会はできず、生徒は教室にいて画面を見る形式になりました。これ以降、始業式、終業式、壮行会等の全校集会はリモートで行うことになり、今も続いています。

2学年での県外企業研修旅行は、コロナにより当初予定の9月は実施できず、翌年7月に延期しましたが結局中止となりました。今年の1月末に代替旅行として日帰り旅行を計画しましたが、またもや予期せぬ感染急拡大で、断念せざるを得ませんでした。

2学年時の県総体は中止になり、悔しい思いをした先輩を見てきました。資格試験も中止や延期が相次ぎ、研鑽した能力を発揮できる場をことごとく奪われた年でした。目標を急に奪われた時のむなしさ、そこからの切り替えを体験できたのではないかと思います。

3学年の県総体は、大会直前に感染拡大により部活動停止、競技ごとに延期して実施になりました。しかし、モチベーションを下げること無く、全国大会への切符を手にする生徒がいました。学校祭文化の部は学年ごとに体育館に集合しステージ発表を実施し、他学年は教室でリモート観覧となりました。準備期間が短いにもかかわらず、どのクラスもまとまった演技で観客を楽しませていました。

就職試験は例年通り9月16日から開始され、心配していた求人数も例年並みでした。複数の先生に面接練習を申し込む姿が見られました。結果、一次応募の内定率は89%と高いものでした。進学試験もほとんどの生徒が第一志望に合格し、国公立大学にも5名が合格しました。

下表は、年度ごとに卒業生が表彰を受けた数をまとめたもので、ジュニアマイスターと鳥取県立高校職業教育技術顕彰は、取得資格に応じて表彰されるものです。この表から分かるように、4つの項目で本校の新記録を出しています。コロナに翻弄されつつも、自分のすべきことを着実にいった成果だと思います。卒業生は、予期せぬことは起こり、これまでの生活が変わりうるということ、自分の人生を決める重要なタイミングで経験しました。この経験が、変化が加速する社会に適応していける能力の礎になることを願っています。

卒業年度	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年
卒業生数	191	182	188	185	181	188	167	182	166	183
ジュニアマイスター特別表彰	2	0	2	0	0	3	2	4	3	0
ジュニアマイスターゴールド	12	8	5	3	5	7	5	7	6	2
ジュニアマイスターシルバー	19	9	8	19	7	6	7	12	8	12
ジュニアマイスターブロンズ	33	22	28	21	-	-	-	-	-	-
鳥取県立高校職業教育技術顕彰	58	48	48	48	32	26	20	22	26	17
3年間皆勤賞	33	24	19	44	24	18	21	27	18	19